

## 教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」について

### 1 「量の見込み」(最終案)

就学前子どもの保護者の教育・保育に対する利用希望を調査し、これらを基に、人口流動等の補正を加え、教育・保育の「量の見込み」を推計。この内、0歳児保育の「量の見込み」については、国から、育児休業の取得実態を踏まえた「量の見込み」を算出する方法が新たに示されたことから、本市子ども・子育て会議就学前教育・保育部会(7/30 及び 9/4 開催)において、ご意見いただき、「量の見込み」(最終案)として取りまとめたもの。[資料2-1](#) [資料2-2](#)

### 2 教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」について

(1) 市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」及び「確保方策」等に関する調査について(内閣府通知) [資料3](#)

(2) 教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」(素案) [資料4](#)

#### ①1号

- 公立幼稚園は、余裕教室の活用も含めた利用可能な児童数
- 私立幼稚園は、園則で定められた児童数

#### ②2号、3号(1-2 歳、0 歳)

過去3年間の平均入園児童数または施設の受入上限児童数で調整

#### ③新設、増改築予定の取り扱い

各保育施設の新設、増改築予定年度に追加